

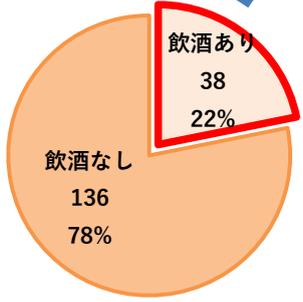
歩行者の交通事故防止

～飲酒時は要注意～



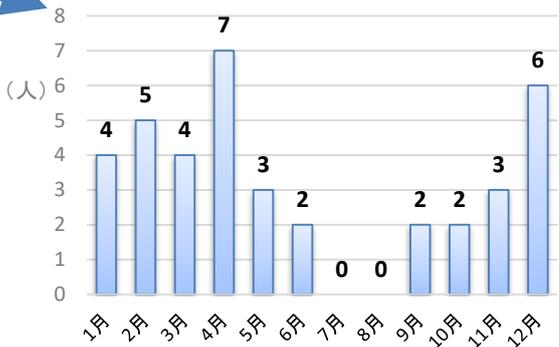
広島県内の歩行中交通事故死者数【平成27年～令和元年の合計】

飲酒の有無割合
歩行中死者数



※第3当事者以下の歩行中死者を除く。

発生月別飲酒あり歩行中死者数



歩行中死者の約2割に飲酒が見られます。その内、**9割以上が夜間に発生**しており、**外食や宴会等の帰り**で多く発生しています。
月別では4月の発生が最多ですが、1～3月も多く、送別会等が多い時期も注意が必要です。

飲酒あり歩行者の主な死亡事故事例

◎ 赤信号無視で道路を横断！！



- 横断歩道横断中の死亡事故が最多！
- 特に信号機のある横断歩道を**歩行者が赤信号で横断中に多発**しています。

◎ 道路上の寝込み！！



- 路上で横たわる飲酒あり歩行者の死亡事故は**毎年発生**しています。

交通事故を起こさない、被害に遭わないために

～お酒を飲んで帰る時は～

- 自身の酒量をわきまえ、飲み過ぎない。
- 信号を守る、車道を歩かない等交通ルールを守る。
- 深酔いした人は自宅まで送り届けるなど、同席者は最後まで面倒を見る。

～車を運転する方は～

- 「何もないだろう」ではなく「かもしれない運転」を心がける。
- 夜間は 昼間より速度を落として慎重に運転する。
- 対向車や先行車がない場合は上向きライトを活用する。



横たわっている人を見かけたら「110番通報」をお願いします。その通報で命が救われることがあります。